



発行日/2024年6月24日

編集・発行/堺市立健康福祉プラザ

視覚・聴覚障害者センター

聴覚障害者情報提供施設

〒590-0808 堺区旭ヶ丘中町4-3-1

Tel:072-275-5024 Fax:072-243-2222

Mail:mimi@sakai-kfp.info

みみより

73

ごあいさつ

中間 洋子

6月といえば雨でじめじめして嫌なイメージが強いけれど、雨に濡れてしっとりしている紫陽花は綺麗で好きです。紫陽花は昔からいろいろなおまじないに使われてきたようです。玄関やトイレ等、吊るす場所によって効果が違うらしいので、興味のある方は調べてみるか、身近な先輩方に聞いてみてください。

ところで、私は難聴とのつき合いは長いですが、きこえを助けてくれる便利な道具やアプリが最近はとても増えた上、性能もすごくよくなっていて驚きます。手話を使う人口は増えたとはいうものの、例えば仕事帰りにスーパーに買い物に寄っても手話を使う人に会うことはほぼありません。手話を使うスタッフがいるものならニュースになります。それくらいまだまだ少ないということです。でも、「きこえないので書いてください」と言うのと快く書いてくださるスタッフが増えました。以前は、戸惑いの表情をす



る人の方が多かった事を考えると、とても理解がすすんでよくなっています。補

聴器にはBluetoothがついているのは当たり前になり、様々な電子機器と無線でつなぐことができるようになってきました。手話を習得してからは耳で「ききたい」という気持ちは減りましたが、「きこえていた」頃の記憶から時々懐かしい歌をBluetoothで繋いで、きいたりします。

先日の「きこえのセミナー」でも紹介しましたが、文字変換アプリもたくさん種類があり、近くの人との会話が得意なもの、また、講演会などの広い場所でマイクの音が得意なものなど、場面によって活躍するもの、そうでないものがあります。是非、いろいろ試してみてくださいね。

開催事業報告

《もじサロン（筆談会・わいわいおしゃべり会）》



5月は4名の参加者でした。初めての方もおられ、「読みたくて本を買ったけど読まずに忘れていた」等、誰にでもあるような日常の何気ない「あるある話」を筆談で行い、みなさんと笑い合いました。

きこえづらくなっても、そんな「普通」の会話の楽しさを思い出す時があります。いろいろなコミュニケーション手段をとりながら「人と人との関わり」を大切にしたいと思う時間になりました。

6月は、要約筆記を利用した「わいわいおしゃべり会」を開催しました。進行役にみどり心理相談室の高宮 明子(めいこ)さんをお迎えし、6名でおしゃべりを楽しみました。最初に、補聴器の仕組みやヒアリンググループ、デジタル補聴援助機器のほか、スマートフォンの音声認識アプリをいくつかご紹介いただきました。その後、要約筆記の文字を見ながらお話を進めました。

6月と12月は「わいわいおしゃべり会」を、それ以外の月は、第2木曜日に筆談会を開催しています。筆談会は、前日までにお申し込みいただければ大丈夫。また、遅刻・早退もOKです。どうぞお気軽にご参加ください。また、要約筆記は病院や公的機関で手続きをされるときなどにも利用できます。詳細は、センターにお問い合わせください。

《みみサロン》

5月18日(土)はプラザ4階市民交流センターで勤務されている大内秀之さんをお迎えし、「気持ちを伝える ～パラクライミングを通じて～」というテーマで講演していただきました。14名の方にご参加いただきました。大内さんは数々のパラクライミングの世界大会に出場しておられますが、言語の違う選手やスタッフと仲良く交流できるポイントを、経験談を踏まえてお話し頂きました。ご自身の車いすでのいろいろな生活方法を具体的に説明してくれました。さらに「幻肢痛(げんしつう)」と呼ばれる本来なら感じるはずのない痛みにも大変苦しみながらも前向きにチャレンジし続ける姿に会場全体が引き込まれていました。参加者からの質問もとてもよく、会場全体が感涙。感動的な空間になりました。

大内さんは小学校をはじめ色々な場所で講演活動をされていますので、聞き逃した方はぜひ別の機会に聞きに行ってみて下さいね。



【参加者の声】

- ・実体験を楽しく聞かせていただき、海外と国内の色々な違いがわかって興味深かったです。
- ・歳に関係なく今から生き直そうと思いました。
- ・いろいろな場面でいろいろ考えさせられました。私も昨日の自分よりも成長したいと思いました。
- ・幸せな2時間になりました。お話を聞いて良かったです。1日1日を大切に生きることが今までもこれからも私の目標です。
- ・こんなに心が満たされたサロンは最高です。がんばって日々を過ごそうと思いました。
- ・今まで何度かみみサロンに参加させて頂きましたけれど一番良かったです。
- ・とても2時間が早かったです。ありがとうございました。
- ・見習いたいと思いました。私も頑張ります。
- ・素晴らしい人でした！！話をきけてとても勉強になりました。また続きがあれば聞きたいです。パラリンピックがどうなったかもいろいろききたいです！！

《きこえのセミナー》

5月のセミナーは、株式会社アイシンのご協力をいただき、音声認識アプリの紹介をしました。堺市広報に掲載後、すぐにたくさんのお問い合わせをいただき、定員を大きく超えてしまい抽選となりました。ご参加いただけなかった方に大変申し訳なく思うと同時に、困っておられる方の多さを改めて感じました。アプリの使い方自体は、常時、職員が対応していますので、日時の予約を取ってお越しください。

さて、今回ご紹介した「YY Probe(ワイワイプローブ)」というアプリを作った株式会社アイシンは、愛知に本社を置く車のトランスミッション等を製造している企業です。車関係の企業がなぜ音声認識アプリを？そこには工場で働くきこえない・きこえにくい仲間の声がありました。コロナでマスク生活になり、口の形を見てコミュニケーションを取ることも難しくなりました。仕事をするうえで、いろいろな困りごとが出てくる中、自分たちの企業の技術を応用しようと仲間のためのアプリ開発が始まります。仲間の要望も聞きながら開発を進め、ことばだけでなく、危険を知らせるサイレンや叫び声にも反応する



アプリが出来上がりました。これを社外でも活用してもらおうと、2022年10月にリリースされたそうです。工場内で使っていたので、「騒音の中で会話が見える」をめざしており、今もユーザーの声を反映して機能の修正をしているとのことでした。

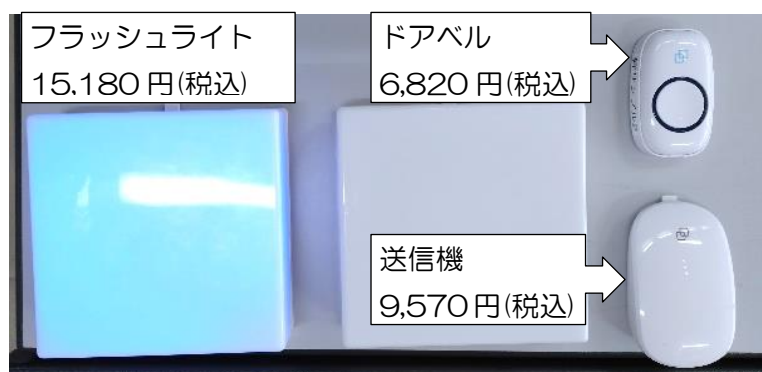
2025年には、デフリンピック2025が開催されます。きこえない・きこえにくい方々はバレーボールのスパイクの音、卓球のラリーの音、そして、観客の応援や拍手の音を感じることができません。スポーツ観戦での臨場感を文字で伝える機能も紹介していただきました。楽しみですね。

後半は、実際に参加者のスマートフォンにアプリを入れ、音声認識の機能を体感していただきました。スピーカーからの音では誤変換が起きやすいのですが、YY Probeは「うるさい環境下で使える」が売り。変換速度や精度への参加者のみなさんの満足度は高いものでした。「こういうアプリを待っていた!」、「これを使って自治会の役員を続けます!」との感想も多数いただき、音声認識アプリへの期待の大きさも伝わってきました。何より、みなさんの表情が明るくなったのが印象的でした。

音声認識アプリは、本来はきこえない・きこえにくい人が使うのではなく、話す側が使うものです。社会的にはまだまだ「きこえなくて困っている人が使う」という意識が強くありますが、話し手が気をつけて、きちんと認識してくれるように話さなければ、誤認識が多い、よくわからない文章になってしまいます。私たちも「伝える、伝わる話し方」ができるよう心がけたいです。

今回、ご紹介した「YY Probe」のほか、iPhone・iPadをお使いの方は「YY 文字起こし」というアプリが便利です。Androidの方は、「音声文字変換」というアプリが初めから入っている機種もあり、操作も簡単です。いろいろなアプリを使ってみてくださいね!

「フラッシュライト」無料体験できます!



「フラッシュライト(聴覚障害者用屋内信号装置)」は、来客やFAXの着信等を光や振動で知らせてくれる機器です。堺市では、聴覚障害2級の手帳を持っている方は給付の対象ですが、対象外の方、手帳のない方は自己負担になってしまいます。便利ではありますが、高額なものが多く、簡単には買えませんね。

株式会社エスケープランニングでは、アメリカ人ろう者によって開発されたフラッシュ

ライトを販売しています。①必要なものを組み合わせられる。②持ち運びができる。③好きな色に設定できる。という特徴のほか、工事が不要で金額も低めに設定されています。インターホンと「送信機」がつながらない場合は、「ドアベル」を玄関に設置し、インターホンの押しボタンにすることができます。2週間の無料体験ができるので、興味のある方は直接、お問い合わせください。

株式会社エスケープランニング TEL: 080-6620-7676 FAX: 047-330-7778

メール: m-fukushima@sk-planning.com

LINEのテレビ電話で手話対応も可能です。



インスタグラム

フェイスブック

エックス(旧ツイッター)

このほか、SNSできこえない方との打ち合わせの様子や、きこえない人のための建築について情報発信をされています。下記の二次元コードからご覧ください。センターにも案内チラシを配架しています。

センターでは、ほかにもいろいろな機器のお試しができますので、遠慮なくご相談ください。

手話奉仕員・通訳者養成講座

市民向け講座が始まりました！

今年の市民向け手話講座(春講座)は、夜開催の講座を3か所に増やしました。学校や仕事が終わって駆けつけてくださる方もおられます。8回という短い講座ですが、伝える、伝わる楽しさを感じていただければと願っています。

要約筆記者養成講座

交流会が終わり、講義開始！

5月末から始まった交流会では、難聴者の生活や心理を知ることができました。6月からは、4時間の講義が始まり、7月・8月と暑い夏もやってきます。交流会で感じたことを大切にしながら、学習を続けてください。

センター(聴覚)の行事

※行事はすべて事前申込が必要です。

7月11日(木) 14:00~15:30

もじサロン(筆談会)

7月20日(土) 14:00~16:00

みみサロン

「ホンマにできてる？ 災害への備え」

7月27日(土) 14:00~16:15

保護者学習会+中高生セミナー

「先輩のお話を聞こう！」

8月8日(木) 14:00~15:30

もじサロン(筆談会)

※7月の補聴器相談は一杯になりました。

9月以降はお申し込みが可能です。

ご希望の方は、お問い合わせください。

ビデオライブラリーのおすすめ

「ポケットモンスターファイナル『激流』」

マスターズトーナメント・ファイナルが始まりました。絶対王者ダンデと、下馬評(げばひょう)を覆(くつがえ)し勝ち上がってきたサトシの対戦に観客の熱気は最高潮！そんな中、ダンデからある提案が…。かつての仲間・ライバルたちも見守る中、頂上決戦の火蓋(ひぶた)が切られました！

「こんな夜更けにバナナかよ 愛しき実話」

ボランティアに支えられている筋ジストロフィーの鹿野は美咲に恋をします。美咲も次第にその生き方に共感。鹿野は人工呼吸器が必要となりますが、声を失いたくないと拒みます。人生を駆け抜けた男の笑いと涙の実話物語です。



雨の多い季節は体調を崩しがち・・・。

みなさまどうぞご愛ください。

センター(聴覚)の公式LINE登録はこちら→
月2回程度、情報をお届けしています。

きこえる方はご遠慮ください。



頑張っています 手話通訳・要約筆記登録者

実施済

- ・新規研修(合同:2回・手話実技:5回・要約筆記ステップアップ:PC2回・手書き2回)
- ・手話通訳者実技研修 6/1
- ・手話通訳者・要約筆記者合同研修 6/22

- ・新規手話通訳者実技研修 6/28
- ・新規要約筆記者ステップアップ研修 7/6(PC)・11(手書)
- ・手話実践研修(グループワーク) 7/17
- ・要約筆記者実技研修 7/9(手書)・16(PC)
- ・要約筆記者実践研修 7/16

事業状況		手話通訳		要約筆記		ライブラリー	
		個人	講演	個人	講演	利用者数	貸出数
4月	派遣数	248件	11件	9件	3件	5人	26本
	派遣人数	265人	22人	16人	8人	新規登録者:1人	
5月	派遣数	207件	12件	12件	5件	21人	45本
	派遣人数	219人	21人	26人	14人	新規登録者:7人	

ご協力ありがとうございました

